

平成 1 0 年度試験研究成果

区 分	普 及	題 名	加温抑制トルコギキョウの高品質生産技術 - 夜冷育苗と短日処理による品質向上 -		
〔要約〕11月出しトルコギキョウの高品質生産は5月上旬播種とし、夜冷短日育苗と定植後30日間の短日処理を組み合わせることにより高品質生産ができる。					
キーワード	トルコギキョウ	夜冷短日育苗	短日処理	園芸畑作部 南部園芸研究室	

1. 背景とねらい

岩手県におけるトルコギキョウの生産は、無加温による8月～10月出荷の作型が主体であるが、全国的に品薄となる11月出しの大きな産地はほとんどなく、市場からも産地化が期待されている。しかし、この時期の生産は、育苗期の高温によるロゼット株の発生や、定植後に高温時期を経過することによる、短茎開花・ボリューム不足など、安定生産、高品質生産が困難である。

そこで、11月出しを目標として、夜冷短日育苗と定植後の短日処理の組み合わせによる開花抑制及び品質向上効果について検討した。

2. 技術の内容

(1) 播種時期を5月上旬とし、夜冷短日育苗と定植後30日間の短日処理を組み合わせることにより、11月に高品質生産ができる。

(2) 同様の方法により、ほぼ同時期に採花となる5月上旬播種の自然育苗・定植後短日処理有り、5月中旬播種の自然育苗・定植後短日処理無し、5月中旬播種の夜冷短日育苗・定植後短日処理無し等と比較して、切り花品質が向上する(表2)。

(3) 夜冷短日育苗は、自然育苗に比較してロゼット株の発生が極めて少ない(表2)。

3. 普及上の留意事項

(1) 品種は、F₁早生品種またはF₁中生品種を用いる。F₁晩生品種は「ブラッシング」の発生が多く、不適である。

(2) 夜冷短日育苗方法は、17時～8時の間は13～15の暗黒低温条件、8時から17時の間は9時間日長とし、自然条件で管理する。高温時は、ハウス上部に40～45%程度の遮光資材を被覆する。

(3) 夜冷育苗では、夜間の低温条件により苗の生育がやや遅れることから、60～75日の育苗期間を要する。苗の定植適期は2.0～2.5対葉の頃とする。

(4) 定植は、遅くとも7月中旬頃までに実施し、定植後の短日条件は、17時～8時の間を暗黒として9時間日長とし、定植後30日間処理する。その際、定植後2週間程度、ハウス全体を遮光率50～75%程度の遮光資材で遮光し、活着促進と効果の安定を図る。

(5) 品種または気象条件により、短日処理において芯止まり症やロゼット発生等が助長される場合があるので、品種選定に留意するとともに耕種的な対策を講じることにより軽減する必要がある。

(6) 10月以降は、電照により16時間日長を確保するとともに、最低気温15℃を目標に加温する。

4. 技術の適応地帯 県中南部沿岸

5. 当該事項に係る試験研究課題

〔花き3〕- 1 - (1) - ウ 花き銘柄産地構築のための長期継続出荷技術の開発研究
(イ) - a トルコギキョウの秋冬出し高品質生産技術の確立

6. 参考文献・資料

- | | |
|---|------------------|
| (1) 「平成8、9年度 試験成績概要書(野菜・花き)」 | 岩手県農研センター南部園芸研究室 |
| (2) 平成9年度試験研究成果
「短日処理による10月出しトルコギキョウの品質向上技術」 | // // |
| (3) 「平成10年度 試験成績概要書(野菜・花き)」(未定稿) | // // |

7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 年次別播種期と開花期

品種名	育苗条件	定植後の 短日処理	播種期 (月/日)				開花期 (月/日)			
			1996年	1997年	1998年	平均	1996年	1997年	1998年	平均
あずま	自然	無	5.02	5.01	5.01	5.01	10.26	10.10	10.07	10.15
	夜冷	無	5.02	5.01	5.01	5.01	10.23	10.08	10.08	10.13
の粧	自然	有	-	5.01	5.01	5.01	-	11.19	10.19	11.04
	夜冷	有	5.02	5.01	5.01	5.01	11.26	11.23	10.19	11.13
-----	自然	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.08	11.03	10.26	11.12
	夜冷	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.07	11.02	10.18	11.09
あすか	自然	無	5.02	5.01	5.01	5.01	11.08	10.14	10.13	10.22
	夜冷	無	5.02	5.01	5.01	5.01	11.04	10.18	10.14	10.22
の粧	自然	有	-	5.01	5.01	5.01	-	11.15	10.27	11.06
	夜冷	有	5.02	5.01	5.01	5.01	12.11	11.25	10.23	11.20
-----	自然	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.18	11.20	11.13	11.27
	夜冷	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.18	11.17	10.21	11.19
あすか	自然	無	5.02	5.01	5.01	5.01	11.09	10.13	10.08	10.21
	夜冷	無	5.02	5.01	5.01	5.01	11.09	10.19	10.10	10.23
の漣	自然	有	-	5.01	5.01	5.01	-	11.25	10.23	11.09
	夜冷	有	5.02	5.01	5.01	5.01	12.13	11.29	10.21	11.21
-----	自然	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.18	11.03	10.21	11.14
	夜冷	無	5.17	5.16	5.15	5.16	12.18	11.13	10.20	11.17

表2 切り花品質 (1996~1998年 3ヶ年平均値)

品種名	は種 時期	育苗 条件	定植後の 短日処理	切り花 長 (cm)	調製重 (g)	茎径 (mm)	分枝数 (本)	有効花蕾 数 (輪)	芯止まり ²⁾ (%)	ロゼット等 ³⁾ (%)	茎折れ (%)
あずま	5.01	自然	無	74.6	48.9	5.6	2.7	9.2	3.0	0.0(4.6)	0.3
	5.01	夜冷	無	79.1	54.9	5.8	2.9	9.9	2.2	0.0(0.0)	0.3
の粧	5.01 ¹⁾	自然	有	72.9	61.3	6.2	4.1	10.6	43.6	1.8(26.1)	0.0
	5.01	夜冷	有	83.0	57.1	6.2	3.0	9.8	14.0	0.0(2.4)	0.4
-----	5.16	自然	無	59.9	40.5	5.4	2.3	7.0	0.0	0.0(13.9)	0.0
	5.16	夜冷	無	68.5	44.5	5.4	2.4	7.3	2.9	0.0(0.9)	0.3
あすか	5.01	自然	無	77.2	61.7	6.2	2.9	10.2	1.1	0.0(0.3)	1.1
	5.01	夜冷	無	81.9	59.7	6.4	2.7	9.6	0.0	0.0(0.6)	0.0
の粧	5.01 ¹⁾	自然	有	78.6	59.4	6.5	2.4	8.4	15.0	1.5(6.1)	3.4
	5.01	夜冷	有	88.6	64.1	6.7	2.8	8.9	16.1	0.0(1.1)	1.3
-----	5.16	自然	無	64.4	44.5	5.9	2.3	6.8	1.7	1.4(26.4)	0.0
	5.16	夜冷	無	73.0	52.5	6.3	2.6	8.0	1.7	0.0(3.6)	0.0
あすか	5.01	自然	無	74.8	60.4	6.1	2.4	8.3	0.0	0.0(2.5)	0.0
	5.01	夜冷	無	78.0	59.6	6.4	2.4	7.7	1.1	0.0(0.4)	0.0
の漣	5.01 ¹⁾	自然	有	80.7	67.6	7.1	2.7	8.2	6.0	4.3(7.2)	0.0
	5.01	夜冷	有	91.7	78.5	7.2	2.6	9.8	10.2	0.0(0.0)	0.0
-----	5.16	自然	無	63.8	43.5	5.8	2.0	5.4	1.3	0.4(9.2)	0.0
	5.16	夜冷	無	69.0	47.8	6.1	2.0	6.1	0.4	0.4(0.9)	0.0

1) 1997~1998年の2ヶ年の平均値

2) 芯止まり: 葉先枯れ症が進行し、生長点が枯死したもの。生理障害。

3) ロゼット株率 ()内は、半ロゼット株率

半ロゼット株: 抽台するが、節間伸長が緩慢な個体